



三角 武久

多摩川活用について

問 ①多摩川活用実施計画とは。②進捗状況は。③駐車場の整備について。④ドッグランの整備検討を。⑤ヘリポート整備の進捗状況。⑥環境学習について。

答 ①多摩川活用推進を具体化した計画。②毎年見直しを実施。③関係機関と調整し整備方針を定める。④まちを盛り上げる一つの施策。⑤場外離着陸場として京浜河川事務所と調整中。⑥子供たちへの周知強化。

災害犯罪に強いまちづくり

問 ①協定自治体との連携。②関係機関団体との連携。③災害発生時の市民への情報伝達方法について。④横の動きを意識したタイムラインの作成。⑤貧困と犯罪との関連性。⑥高齢者の貧困。

答 ①訓練参加等で顔と顔とが見える関係を構築。②協議・調整ができる良好な連携。③防災行政無線等を整備。④庁内体制のタイムラインを作成する。⑤心のケアや立ち直りを支援。⑥貧困の観点からの見守りも重要。



田中 智子

和泉多摩川緑地の都立公園化について

問 ①構想素案からの変更点。②説明会でも納得したとの意見は少なかった。住民合意が得られているのか。③合意をきちっとした上で都と協議との市長答弁のとおり説明を。④住民合意のためさらに説明を。

答 ①公有地を中心に理念やイメージを一例として示した点等を明記。②市民要望に沿ったもの。③合意を得るため市民意見を反映した構想案の説明を追加実施した。④都立公園の必要性を説明していきたい。

早期発見・早期治療で認知症予防対策を

問 ①認知症簡易チェックから相談につながった人は。②誰でもチェックができる仕組みづくりを。③認知疾患医療センターに慈恵第三病院が指定。認知症初期集中支援チームを設置すべき。④認知症力フェア実現を。

答 ①十数件。②特定の媒体に偏ることなく広い範囲での情報発信に努める。③チームの具体的な制度設計に着手する。④場所、担い手、運営形態について実施している自治体・団体等を参考に調査・研究を実施。



岡村 しん

災害死者ゼロのまちづくりに(災害弱者の視点)

問 ①震災時の死亡数の想定で災害弱者の人数と割合。②視覚障がい者へ情報伝達の対応は。③防災行政無線が家で聞ける戸別受信機を7割国費負担している。視覚障がい者など災害弱者へ配付すべきではないか。

答 ①多摩直下地震では10名、71.4%。東京湾北部地震では12名、70.5%を想定。②特に対応していない。③情報は防災行政無線で拡声し補完として自動応答電話にて伝達していく。

保育環境の充実を

問 ①来年度と再来年度に予定している保育施設の進捗状況は。②来年度予定の小規模保育所の手続はどのようなになるか。③待機児を解消する計画を前倒しすることが必要。既存施設の活用も含めて検討を。

答 ①認定こども園のほか、小規模保育事業1カ所は認可手続中、もう1カ所は調整中。再来年度に向け認可保育所1カ所の準備を進める。②結果発送の際に対象者にお知らせする。③状況を踏まえ、改めて検討。



西村 あつ子

子育て環境の整備について

問 ①一時保育の現状と課題。②ぎんぎょう保育園は一時保育実施での決裁である。なぜ未実施なのか。実施をお願いすべき。

答 ①ニーズが高まっており、受け入れ施設の拡大が課題。②職員体制など十分協議の上、実施について検討してもらう。

オーケー泊江中和泉店新築工事の現状について

問 ①駐車場のなくす計画が出されたが評価は。②地域貢献利用の内容。③現状での評価とまちづくり

条例の果たすべき役割は。

答 ①話し合いの成果。②利用を検討予定。③共存を目指す調整ができた。個別の事情について良好なまちづくりを目指すこと。

支援の必要を子供への対応について

問 ①中学校の特別支援教室の流れ。②静かな環境が求められるが手だては。③児童発達支援センター設置の考え。

答 ①平成28年度のできるだけ早い時期から巡回相談を実施。②小学校と同等水準の施設整備を調整。③あり方検討委員会で検討。



鈴木 えつお

マイナンバー制度、個人情報保護の漏えいがないように

問 ①通知カードが届いていないのは何世帯か。②番号記入のない書類が提出されても受理され、本人の不利益はないか。③個人情報処理する端末とインターネットの物理的切断、その後の検討はどうか。

答 ①市へ返戻された通知カードは、12月4日現在約5200世帯分。②不利益にならないと考えている。③国等の通知を踏まえ、市内ネットワークを基幹系と情報系に物理的に分離する方向で検討する。

憲法を生かし、平和と暮らしを守る市政を

問 ①戦争法案強行採決、どのような受けとめるか。②海外での武力行使は行うべきではないと思うが。③月収14万円の人が年20万円もの税金を払っている。徴税は生活実態をよく把握してきめ細かく対応すべき。

答 ①法として成立した以上は、法の廃止を求めたのではなく、問題があれば修正をしていくのが手順。②武力行使自体は行うべきではない。③真摯に受けとめて相談には応じている。



宮坂 良子

高齢者が安心して利用できる介護保険制度に

問 ①要支援者が介護保険から外される新総合事業への移行の時期は。②移行によって緩和されるサービスの運営基準や資格、報酬。③介護予防の筋力トレーニングの応募と受講者数。④参加漏れの方への対応は。

答 ①新総合事業への移行は平成29年4月1日から開始を目指し準備を進めている。②先進市を参考として今後検討していく予定。③希望者は157人、参加者34人。④次年度の介護予防事業への案内。

障がい者スポーツの振興のため施設の整備を

問 ①西和泉グラウンドのトイレ、近い通路の鍵をあけて利用できるように。②障がい者が利用できる駐車場とだれでもトイレがあるスポーツ施設。③西和泉体育館は女子トイレが和式のみ。だれでもトイレに改善。

答 ①ルールをつくり利用できるように調整。②市民総合体育館と元和泉テニスコート。③暫定利用の施設のため大規模な改修はできないが、使いやすイトイレになるよう検討していきたい。

インターネット中継をご利用ください

泊江市議会では、本会議のインターネット中継を行っており、ご自宅のパソコン、スマートフォン等からライブ中継及び録画映像をご覧いただくことができます。

録画映像は、本会議終了後5日後(土日祝除く)からご覧いただけます。

(注) 議会中継は、公式の記録ではありません。公式記録は、会議録をご覧ください。議会中継に関する著作権は、泊江市議会が所有しています。映像・音声等の無断使用及び無断転載を禁じます。



今後の市議会の日程(予定)

平成28年第1回定例会は、おおむね左記の日程で開催されます。

- 2月23日(火) 本会議(初日)
- 3月1日(火) 本会議(一般質問)
- 3月2日(水) 本会議(一般質問)
- 3月3日(木) 本会議(一般質問)
- 3月7日(月) 総務文教常任委員会
- 3月8日(火) 社会常任委員会
- 3月9日(水) 建設環境常任委員会
- 3月15日(火) 予算特別委員会
- 3月16日(水) 予算特別委員会
- 3月17日(木) 予算特別委員会
- 3月22日(火) 予算特別委員会(予備日)
- 3月25日(金) 議会運営委員会
- 3月28日(月) 本会議(最終日)

開会時間は、いずれも午前9時の予定です。また、請願・陳情の締め切りは、3月9日(水)となっております。

なお、都合により日程の変更も予想されますので、傍聴をご希望の方は事前に議会事務局までお問い合わせください。

泊江市役所・議会事務局(3階)

内線 2341・2342